

パイオニア精神あふれる先輩方が支えたシャープアマチュア無線 へのお誘い

戦前から脈々と続くクラブ活動のひとつにアマチュア無線の活動があります。現在は、社友会本部のラジオ愛好者同好会[1]で「シャープアマチュア無線クラブ」の活動を主宰しています。

最近のアマチュア無線はスマホに押され気味ですが、ラジオ愛好者同好会では、毎週開催のネットミーティングや地域間交流を通じて全国に大勢いるシャープアマチュア無線関係のメンバーのチームワークを保ちつつ、皆さんと一緒に楽しむ様々なアマチュア無線活動を展開しています。

ご自身がアマチュア無線をされている方は勿論、興味はあるが手が出ないという方、今は諸般の事情でお休みしているけれども もう一度やってみたいという方、お子さんに実践的な科学技術の一端に触れさせたいと考えておられる方など、一緒にラジオ愛好者同好会でアマチュア無線を楽しみませんか？ お住まいや勤務地に係わらず、全国の社友会会員の皆さんを、歴史あるシャープアマチュア無線クラブにお誘いします。

シャープアマチュア無線のルーツ

シャープアマチュア無線のルーツは戦前に遡ります。昭和 8 年(1933 年)に早川金属工業が西田辺の当時の本社研究所に開設した受信局が最初です。昭和 14 年(1939 年)7 月にはその局をもとに私設短波長無線電信無線電話実験局 J3HG を開設しました。1924 年(大正 14 年)のラジオ開発で電鍵を操作されている早川徳次翁の写真は有名ですが、アマチュア無線も、ラジオを祖業とする電機メーカーシャープの黎明期を支えていたのです。戦後は、1963 年 7 月 12 日に結成された八尾事業所のアマチュア無線クラブ JA3YGM によって始まりました。往時は、戦前派の OM はじめ全社に 10 名近い 2 桁コールの方が在籍されており、平野の JA3YJM、大和郡山の JA3YQC、広島の JA4YIH、矢板の JA1ZJL、社友会の JL3YJL など全国7局のクラブ局が活動していました。それ以来 60 年を超える歴史は山あり谷ありですが、年一度の地域間交流会や、毎週開催でどなたでもご参加いただける SC ネット(Sharp Corporation ネット)と呼ぶ 2 つのネットミーティング[2]、①1987 年以来合計 1800 回を超えたオンエアミーティングと、②電波が届かない地域からも気軽に参加できるインターネットを使ったミーティングを通じて、現在もメンバー間のつながりを維持しており、地域を超えた交流を継続しています。最近、その交流の拠りどころとして、長池町の本社に 1964 年(昭和 39 年)に本社に開局した JA3YHU を活用してはどうかとの意見が上がり、シャープ社友会ラジオ愛好者同好会が中心になって具体的な活動を再開しました。

写真: J3HG、JA3YGM、JA3YHU の QSL カードと、JA3YHU の 1981 年当時の免許状



HAYAKAWA METAL CO. LTD. NISHITANABE OSAKA とある J3HG の QSL カード。中央には当時の T を握るロゴも入っている。JA3YGM のカードからは当時の八尾工場の全景が、また、JA3YHU のカードには発足メンバーのコールサインも見える。

無線局免許状				324-0000	
氏名	シャープアマチュア無線クラブ			呼出符号	JA3YHU
住所	〒5900222 大阪府八尾市			免許の番号	近A第 1
住所	〒5900222 大阪府八尾市			交付年月日	昭56.6.2
住所	〒5900222 大阪府八尾市			免許の有効期間	昭61.6.1止
住所	〒5900222 大阪府八尾市			通信事項	アマチュア無線に関する事項
定波の型式	A1	A3J	3537.5KHZ	10W	
	A1	A3J	7050KHZ	10W	
	A1	A3J	21225KHZ	10W	
	A1	A3J	28.85MHZ	10W	
周波数	A1	A3 A3J F3	52MHZ	10W	
	A1	A3 A3J F3	145MHZ	10W	
空中線電力	A1	A3J F3	435MHZ	10W	
昭和 56 年 5 月 16 日				近畿電波監理局長	

現在のメンバー

シャープのアマチュア無線界には、全国に尖がったメンバーが大勢居ます。

93 歳になられる超 OT を筆頭に、開局 70 年近い大 OM、DXCC Honor Roll'er や Five-Band DXCC の保持者、JARL 世界一万局賞の受賞者、AJA に熱中する OM、広大なアンテナファームを所有する OM、アンテナ研究に長けた OM や何でも作ってしまう OM、世界を一人で旅する Youtuber OM、大阪・関西万博のボランティアに励んだ OM、真空管オーディオや切手収集の道を極めた OM、地域クラブでの活動を何十年も続けている OM など。

皆さんそれぞれ、得意分野の community とのつながりをお持ちです。話題が広く、次々と新しいことを考え、嬉々として楽しんでおられます。気さくで、すぐに打ち解けあうことができる方々ばかりです。

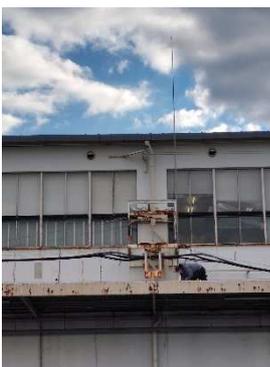
写真:各エリアの、suffix の最初の文字が A の大 OM 三氏。左から、JA4AZC、JA3AIX、JA3AER。



最近の活動

JA3YHU の最近の活動をご紹介します。JA3YHU は、最近本拠地を戦後のシャープアマチュア無線発祥の地である八尾事業所に移し、概ね月一度の活動を継続しています。八尾からの通常の交信や屋外に出たのフィールドミーティングは勿論ですが、自分たちの歴史を知る活動、それを活かした様々なイベント企画や支援、業界や海外との交流会や見学会、青少年団体との交流会など、楽しむことだけではなく、歴史を語り継ぎ、若者の将来を応援する活動を行っています。

写真:八尾事業所に設置した JA3YHU のアンテナ



昨年の活動を具体的に紹介します。昨年は丁度放送開始 100 周年だったこともあり、3 月の放送記念日に、「国産第一号鉱石ラジオ」のレプリカを製作し、記念展「よみがえった 100 年前のラジオで放送を聴いてみませんか」を、シャープミュージアムと共同で企画・開催しました。多くのお客様に楽しんでいただき、7 時の NHK ニュースで大きく報道されたのは記憶に新しいところです[3]。

写真:国産第一号鉱石ラジオ(左)と記念展で製作したレプリカ(右)、FB ニュースにも掲載



また秋には、年一度開催している広島地区との定期交流会を開催し、同時に、教育・研究価値が高い「ラジオ博物館 東広島」の設立開所式を行いました。40名近いメンバーと、多くの地域住民の方が集まりました。FM 大阪の放送設備の見学も行いました。

写真:広島交流会(左)、FM 大阪見学会(右)



また、55年ぶりに復活した万博特別記念局 JA3XPO を JA3YHU で運用し、体験運用制度[4]を利用して子供さんらにアマチュア無線の楽しさを伝える活動を行いました。子供さんらの満面の笑顔が強く心に焼き付きました。

写真: 万博特別記念局 JA3XPO を JA3YHU で運用



このように、自分たちが楽しむことは勿論ですが、博物館の運営やアマチュア無線の活動を通じて、日本の将来を支える子供さんや若い方々と「科学技術の夢」の一端を「共有」できつつあります。知名度が高い大手電機メーカー関連のアマチュア無線クラブとして、社会への恩返しの一歩を踏み出すことができたと考えています。

シャープアマチュア無線活動の今後

会話だけならスマホが便利と、最近のアマチュア無線はスマホに押され気味ですが、アマチュア無線は、実は人的交流が楽しいのです。どなたかとお話しすればその方が活動されている community とも交流が生まれ、笑顔が広がります。その広がりこそがアマチュア無線の特色です。

このようにアマチュア無線の楽しみは会話・交信だけではありません[5]。JA3YHU を旗印に様々な角度から楽しんでいるシャープアマチュア無線活動は、先に述べた尖がった方々に支えられつつ、周囲の方々と積極的な交流を行うことでさらに広がりつつあります。

今後は、社会への恩返しは勿論、「ひとの願いの、半歩先。」を目指して、皆さんと一緒に楽しめるアマチュア無線活動を推し進めます。インターネット技術を導入して、クラブ員なら誰でも、全国何処からでも何時でも JA3YHU を運用できるようにリモート運用の環境を整えたり、クラブコールサインの持ち回り運用もできるでしょう。存在感を世に示すような、EME など簡単には実現できないことにもチャレンジしたいですね。

お誘い

シャープのアマチュア無線に興味を持っていただいた皆様、アマチュア無線は、電子立国日本を支えた「草の根活動」のひとつです。シャープでも、戦前の「神代の時代」以来、パイオニア精神あふれる多くの先輩達が大手電機メーカーシャープの会社としての祖業を支えてきました。

そして今も多くの特徴あるメンバーが集っています。豊富な話題を持つ心の広いメンバーの集まりで、様々な活動を行っています。安心して飛び込んでいただけます。

ご自身がアマチュア無線をされている方は勿論、興味はあるが手が出ないという方、今は諸般の事情でお休みしているけれども もう一度やってみたいという方、お子さんに実践的な科学技術の一端に触れさせたいと考えておられる方など、社友会ラジオ愛好者同好会でシャープアマチュア無線と一緒に楽しみませんか？

幅広く会社の現役の皆さんにもご参加頂いてアマチュア無線を楽しみ、世代間交流を図りながら新しい技術にチャレンジし、また新しいテーマを見付け、更に幅広い活動を行って、これらを次世代に繋いでいくことができると考えています。

皆様からのご連絡をお待ちしています。

(連絡先)

シャープアマチュア無線クラブ 会長 岸 高史(JE3NHK at jarl.com)

社友会ラジオ愛好者同好会 会長 藤林敏男(JO3QVT at jarl.com)

(ご参考)

[1]社友会ラジオ愛好者同好会のホームページ

https://spshyukai.sakura.ne.jp/radio/sharp_radio.html

[2]実施中のネットミーティング:SC ネット

・オンエアーミーティング:毎週日曜夜 21 時 00 分から 144.165MHz±、SSB で実施。MC:JA3IBU

・Echolink:毎週日曜夜 21 時 30 分頃から実施。PC、スマホのアプリで JA3AER につないで下さい

[3]2025 年 3 月 22 日の NHK ニュース(NHK one に登録されている動画)

「100 年前 国内で製作のラジオ 大手電機メーカーの元社員が復刻」

<https://news.web.nhk/newsweb/na/na-k10014757301000>

[4]アマチュア無線の交信体験制度(体験運用)

https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/others/ama_experience/index.htm

[5]アマチュア無線の楽しみ: アマチュア無線のジャンル別楽しみ方コレクション

https://www.jarl.org/Japanese/6_Hajimeyo/6-1-1.htm

文責:吉田(ラジオ同好会会員 jr3xuh at jarl.com)